



基調講演者紹介



鈴木 志津枝 先生
神戸市看護大学 学長

家族のグリーフは死後から始まるのではなく、近い将来、患者の死が訪れることを予期した時点から始まる道のりであり、グリーフケアは終末期患者の生存中より家族へ提供される必要があります。グリーフケアとしての終末期ケアを「結果として死別後の遺族の適応過程に肯定的な影響を及ぼすと考えられる終末期ケア」と定義し、患者の生存中より家族に提供する必要のあるケアとして捉え、終末期患者・家族に対する Good Practice となるケア、患者と家族の絆を強め人間的な成長を促していくケア、世代継承性を支えるケアなどの視点から、考えを述べさせていただきます。

パネルディスカッション 司会者 紹介



足利 学 先生
藍野大学 医療保健学部
作業療法学科 教授 / 臨床心理士
特定非営利活動法人 YOU
医療保健福祉研究所 理事長

精神科病院で臨床心理士として勤務後、医療系の大学の教員として心理学や人間学等の授業でグリーフケアを教授している。また、スクールカウンセリング・スーパーバイザーとして、中高生を対象に自死予防の臨床を行っている。

これまでのグリーフケアは「大切な人を亡くした遺族への支援」というイメージがありました。一方、近年医療関係者の中にも、生前からの本人・家族支援という観点から、グリーフケアを学ぶ医療者が増えています。当日は第一線で活躍されているパネリストをお迎えし、生前のケア・看取り時のケア・家族へのケアなど医療者を取り組むことができるグリーフケアをご一緒に考えていければと思っています。皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

パネルディスカッション パネリスト紹介



船戸 正久 氏
大阪発達総合療育センター副センター長
医療型障害児入所施設フェニックス園長
(元淀川キリスト教病院 副院長)

近年医療技術の急速な進歩は、従来救命不可能であった病気に対しても医学的治療介入をし、ときに完治できるようになりました。一方生命予後不良で回復不可能な末期患者さんに対しても機械的な操作（人工呼吸器など）により半永続的に延命可能な時代となりました。この事実は、患者さんの生と死が自然な形で経過するのではなく、発達しすぎた医療技術により操作できる人工的な過程に変わってしまったことを示します。こうした中「本人の最善の利益と尊厳を中心に本来傷害行為にあたる医的侵襲行為をどこまで endless に継続するのか」という倫理的課題が、現在多くの臨床の現場で問われています。こうした中医療者と共にご本人に対してご家族ができる愛情豊かなケアについて一緒に考えたいと思います。



岡本 双美子 氏
大阪府立大学大学院
看護学研究科
准教授

グリーフケアは、大切な人が亡くなってから始まるものではありません。死を予期した時から始まります。また、残された限りある時をどのように過ごすかによって、その後のグリーフは影響を受けます。そこで、家族が複雑な悲嘆に陥らないための支援や残された時間の過ごし方などについて、看護師の立場から考えていきたいと思います。



白山 宏人 氏
医療法人 拓海会
大阪北ホームケアクリニック
院長

グリーフケアは死別後の関わりだけではありません。死別前のケアも大切なグリーフケアとなります。患者さんと御家族に対して、生前から患者さんや御家族の人生観・価値観を尊重し、大切な時間を日々重ねていけるよう関わることで、御家族のグリーフワークが進む支えとなります。生前からのグリーフケアを進めるためには、個々の生活の場にあったサポートが重要です。そのためには地域全体で協働する必要があります。現在の実践や課題について、在宅医の立場から述べさせて頂き、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



坂下 裕子 氏
こども遺族の会
「小さないのち」代表
こどものホスピスプロジェクト
理事

遺族のつらいつづやきとしてよく耳にする、「何でなの…」或いは「あのときこうしてくれたら（こうしていたら）」。これらは混乱や落胆、後悔や自責で、グリーフです。遺族が死を静かに悲しむことを妨げる要因のほとんどは患者の生前にあり、生前のあり方が死後の激しいグリーフを和らげる要素であるとも言えます。当日は実際の「つづやき」や行動と照らし合わせて考えたいと思います。

第2回 グリーフケア シンポジウム 看護師、助産師、介護、福祉従事者に これから必要なグリーフケア

京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール
周辺マップ

〒606-8315
京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内
・市バス「京大正門前」下車徒歩 2分
・京阪電車「出町柳駅」下車徒歩 15分



グリーフケアガイドブックのご案内

当協会講師の方々の思いが書かれています。
ご購入ご希望の方は、協会事務局075-741-7114にお電話いただくか、
協会WEBサイト<http://www.kyoto-griefcare.or.jp>から
お申し込みください。

定価：2,000円（税別）+送料

京都グリーフケア協会は
情緒あふれる京町家の静かな環境で少人数制のグリーフケアスクールを運営しています。
スクールは 「看護師・助産師さま向けコース」
「介護・福祉従事者さま向けコース」
「葬儀従事者さま向けコース」 をご用意しています。
ご興味のある方は協会WEBサイト<http://www.kyoto-griefcare.or.jp>をご覧ください。

